

入学前学習のすすめ

ようこそ学舎(まなびや)へ

教育担当副学長 高石 喜久

難関を見事に乗り越えて徳島大学に合格された皆さん、誠におめでとうございます。

私たち教職員一同は、徳島大学という学舎に合格された皆さんを心から歓迎し、充実した学生生活を過ごしていただくために、精一杯お手伝いします。さて、皆さんはこれから始まる徳島大学での学生生活に、夢を持って希望に燃えている一方で、不安も抱えている事でしょう。大学への入学は、将来の人生設計を考えると高等学校までとは異なって、極めて大きな変化を伴う人生の節目であり挑戦だからです。多くの友人と出会いをつくると共に、「能動的な学習歴(学歴ではなく)」に基づいて「教養」をしっかり身につけた専門家を目指してください。

さて、合格が決まってほっとしているところだと思いますが、高等学校から大学への学びの橋渡しをするために、インターネットを利用した「入学前学習」の教材を用意しました。今までの「入試のための勉強、答えを出すための勉強」から、「どんな意味を持つのかを探る勉強、なぜそうなるのかを考える勉強」をしていただけたら、本来の「学ぶ力」が身につくはずで、人間は死ぬまで勉強です。「少(わか)くして学べば、即ち壮にして為すあり(若い時に学べば壮年、すなわち大人になって社会のために役立つ有為な人材になる)」の精神を忘れず、これからが本当の勉学ですので、多くの学習歴と貴重な出会いを重ねて、「生きるための人間力」を鍛えてください。

4月に合格者の皆さんとお逢いできますことを楽しみにしています。

医学部教務委員長 西村 明儒

医学科に合格された皆さんを心から歓迎します。皆さんは、これから6年間、医師を目指して教養や医学全般について勉強しなければなりません。大学での勉強は、受験勉強と違って、参考書はありません。専門書の内容を自分でまとめて、理解しながら覚える必要があります。丸暗記では追いつかないほど膨大な量がありますので覚悟しておいてください。また、医学は、生物学を基礎としていますので、少なくとも高校レベルの生物が分からないと学習が進みませんし、化学、物理も理解していないと良く分からないまま丸暗記せざるを得なくなってしまうますが、物理的に不可能です。近頃は、どんな分野においてもグローバル化が求められておりますが、最近の学生さんを見ていると英語力よりも国語力の低下が問題であると思います。文学作品を綴れとは言いません。具体的な事物を観察して記録する、あるいは、抽象的な概念を論述する、等、いわゆる論理的な文章を書くことが重要です。それが出来ないと大学に始まり、一生続く医学の勉強をやり抜くことは、困難だと思います。その様な文章力を獲得するためには、ジャンルは、問いません、たくさん本を読んで、色々な言い回しや表現の仕方に触れることです。比較的時間に余裕のある今の時期に本を読み始めて、読書の習慣を身につけてください。我々が学生の頃は、講談社のブルーボックスを片端から読んでいました。理系の内容が多かったので一石二鳥です。

皆さんの学習の助けになる様に「スーパー英語」と生物、化学、物理のリメディアル教材を電子媒体で用意しておりますので、活用してください。

<医学部医学科に入学予定の皆さんへの入学前学習教材>

- リメディアル教材「物理学」
- リメディアル教材「化学」
- リメディアル教材「生物学」
- スーパー英語

入学前学習教材の利用方法は、別紙「教養教育入学前学習教材利用案内2017」を参照してください。

徳島大学教養教育院